



ふぶどうさんと不思議なお手紙

絵・中川貴雄

ふぶどうさんと 不思議なお手紙


絵・中川貴雄



絵・中川貴雄

ふぶどうさんと 不思議なお手紙





生き物あふれる^{しぶや}渋谷の森。
ふどうさんはひとり静かに^く暮らしていました。
いつものように、ともだちの青い鳥が、
一通の手紙をくわえ^{たず}ふどうさんを訪ねます。

「ありがとう!誰からのお手紙だろう?」

名前のない手紙ですが、
とにかく中を開けてみました。

“親愛なるふどうさんへ
いちばんやさしい森のリゾートに^{しょうたい}ご招待”

やさしいってどういうことだろう?と
気になったふどうさんは
早速行ってみることに。

招待状

森の入り口につくと動物たちがお出迎え。^{でむか}

目の前にはテーブルいっぱいにごちそうの山が広がっていました。

「近くで採れた食材ばかり使ってるので、^と

とっても新鮮^{しんせん}で、たくさんあっても運ぶのが楽なんです。」

「ふどうさんですね。
お待ちしてました!」

「わあ、こんなにたくさん!
どれもおいしそう!」



目の前のごちそうを見渡すふどうさん。

すると、突然風がびゅ〜っと吹き抜けました。



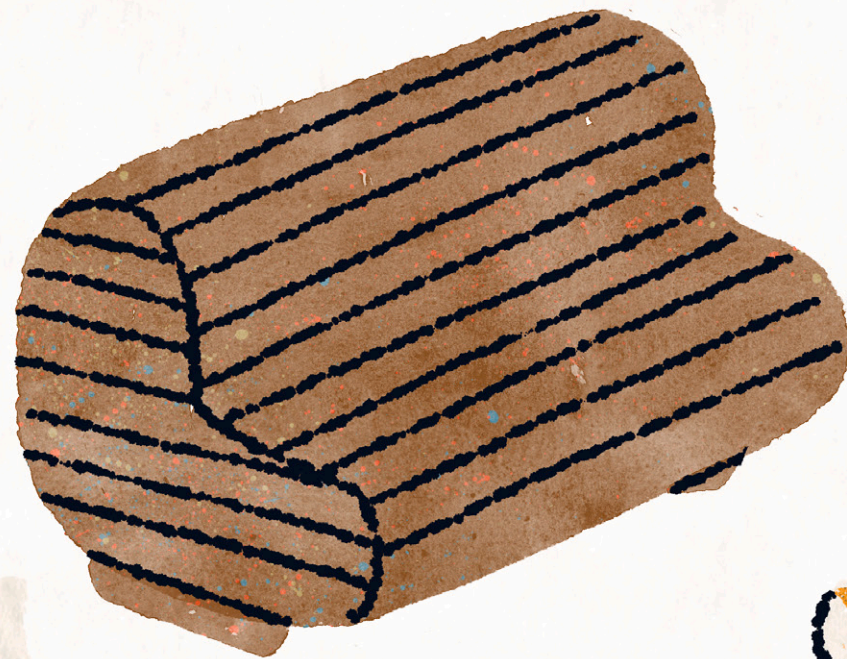
「今日は、どうも風が強いみたいです。料理が冷める前に、さあめしあがれ!」

動物たちの言葉に甘えてできたてのごはんを夢中でほおぼるふどうさん。

やっと食べ終わったところに手紙のことを思い出します。

「あのう、
やさしいリゾートってどういうことなんですか？」

ふどうさんが聞くと、
リスがテーブルに登ってきました。



「いま使っているイスやテーブルは
森を育てるために切った木から
作られているのさ。
木を切ることが、やさしさなのさ。」



「その通りさ。だから定期的に木を減らすと、
暗い森にも光がはいるのさ。
新しい木や芽が生えてごはんも増えるから、
森にも僕たちにもやさしいのさ。」

「手入れをしないと、荒れ果てて土砂崩れが起きたり、
みんなが食べるごはんが育たなくなったりするんだよね……」

ふどうさんは昔住んでいた森を思い出していました。





森の話になんとか興味きょうみがわいたふどうさん。

リゾートにも早く泊まりとたくなってきたのですがとあることに気づきます。

「あれ？招待券しょうたいがない!!」

ポケットに入れていたはずなのにどこかに落っこしたみたいです。

「さっきの風いっしょと一緒に、飛んでいったのかもしれないさ！」

リスは風の向かう先にふどうさんを連れ出します。

しょうたい
招待券が落ちていないかと森の中を歩き回ると、目の前に大きな箱。
その足元からひょっこり声が聞こえてきました。



「も、もぐら!?!」

「やあ、こんにちは。
ごはんはいかがでしたか?」



「先ほどめしあがった野菜の切れ端は、
この特別な箱の中にいれると微生物のちからでたい肥になるんです。」




ふどうさんが中を嗅いでみると畑のにおい。

「もしかして、つくったたい肥を農家のひとに配っているの？」

「野菜をもらって、たい肥にして返す。良い土で、野菜が育つ。

「資源が地域でめぐるといいことばかりです。」



「森だけじゃなくて、
まわりの人や生き物にも“やさしい”んだ。
それって、なんかいいね。
あ!もぐらさん、
これくらいのお手紙って見かけてないかい?」



「そういえば…
さっき渡したたい肥ひに紙がはさまっていたような。」

しょうたい
「それ、招待券かも!」

ふどうさんはあわてて行き先をたずね追いかけてみることに。

あるときは
海にもぐって
サンゴの周りに増えた
クマノミにたずねたり

瀬良垣の海

地域の仲間とともにクマノミを守り、
生き物が住める場所をつくっているぞ。

少し疲れて
間伐材を使った
BBQをしながら
聞き取り調査をしたり

ニセコの山

環境に良いエネルギーで
ゴンドラを動かすぞ！
雪を使った発電にも挑戦中なんだ。

あるときは
ゴンドラに乗って
上から探したり

蓼科の森

育ちすぎたカラマツを間伐して
アロマオイルや家具・薪など
様々な形に活かされているぞ。

けれども
なかなか
招待券は
見つかりません。



空も暗くなり始めたころ

歩き回って疲れ果てたふどうさんは
とうとう座り込んでしまいました。



すると、遠くから見覚えのある姿が。

ともだちの青い鳥がお手紙を持って
飛んできたのです。

「いつの間に!ありがとう!」



こうして無事にリゾートのフカフカの
ベッドで横になるふどうさん。

「たくさん歩いて、^{つか}疲れたけど
いろんな子に会えたし、
おなかいっぱいだし、
なんだか楽しかったな……」

ふふふっと今日を思い出しているうちに、
いつもより早くぐっすり^{ねむ}眠れたのでした。

おしまい



環境取り組み



生物多様性を育む

自然や生き物の適切なモニタリング

施設に息づく動植物の生息・生育環境を調査するモニタリングを行い、適切に対処することで生物多様性の保全に貢献することを目指します。

生物多様性・自然体験イベントの実施

施設の土地を活用しウォーキングや自然観察イベントを行うことで、自然に触れる楽しさだけでなく、動植物を守る意識を育てます。

在来生物環境の保全に配慮した開発

地域の生態系への負荷を最大限減らすため、開発後に在来種の植樹や、生き物たちの生活圏を分断しないエコロジカルネットワークの形成を行っています。



地域の未来を創る

地産地消の促進

地域で生産された食材を積極的に保有施設で活用・販売することで、輸送時のCO₂排出量を抑え、地域への活性に貢献することを目指します。

食品廃棄の活用

施設で出た食べ残しを微生物の力で分解・堆肥化するコンポストを導入。堆肥は施設内で活用するだけでなく、提携農家へ提供。また、保有施設で生まれた廃食油を再利用し、持続可能な航空燃料(=SAF)の製造プラントなどへ原料として提供する活動を行っています。

間伐材や地域の素材を活かした開発

保有する森林で生まれた間伐材を家具や建材に活用するだけでなく、開発前の建物・解体時廃材や既存樹を活かした開発を取り入れています。



地域のエネルギーを活かす

自社発電施設由来の非化石証書調達による電力の100%再生可能エネルギー化を達成

施設で使われる電力以上の再生可能エネルギーを、全国各地に保有する太陽光や風力などの発電所を通じ発電しています。

太陽光パネル、電気自動車充電器の設置

ゴルフ場ではソーラーカーポートで再生可能エネルギーを自家発電。移動時間や待機時間の多いリゾートホテルやゴルフ場を中心に、環境に優しい電気自動車の活用を推進する充電器設置を行っています。

環境負荷軽減のための省エネルギー性能を備えた開発

保有施設で必要とされるエネルギーを、断熱性能を高め、省エネルギー性能の高い設備・システムを導入することで最小限に抑え、CO₂排出量の削減に貢献することを目指します。

おうちのかたへ

東急不動産ホールディングスのリゾートでは、
2030年までに事業を行う土地の40%以上を
豊かな生き物の生態系を守るために保全する「40by30」を目標に掲げます。
森もその一つです。古くなった木々の間伐を行い
施設のバイオマスボイラーやそこで使われる家具などに再利用することで
私たちは森の環境を守り、育てていきます。
さらに、施設で提供する食材はできる限り地元の食材を使うことで
地産地消を実践し、本来捨てるはずの生ゴミも施設のコンポストで分解、
堆肥化して地域の農家の方と食が循環する仕組みを作っています。
森だけでなく海、山と施設周辺の生き物、関わるひとにやさしい楽しさ、
心地よさだけでなくその一歩先の環境のことを考えた施設を
みなさまにご提供いたします。

私たちのリゾートや施設がお届けする楽しくて、サステナブルな取り組みはこちらから

ENJOY! GREEN GUIDE



絵描き：中川貴雄/Takao Nakagawa

1979年和歌山に生まれる
2004年3月大阪デザイナー専門学校イラストレーション学科卒業
2005年3月同校ビジュアルデザイン研究科修了
2009年よりクリエイティブユニット『なりゆきサーカス』に参加
2021年地元の和歌山県御坊市でトリノスギャラリーを主宰して子どものお絵かき教室や
ワークショップを開催したりイベントを立ち上げたりなど積極的に幅広く活動中。

監修：東急不動産株式会社/東急リゾート&ステイ株式会社/東急リゾート株式会社